

## 3 陳情第 38 号

3 陳情 第 38 号	新宿区立高齢者いきいの家「清風園」解体工事中の中止を求める陳情
付託委員会	福祉健康委員会
受理及び付託 年 月 日	令和3年10月4日受理、令和3年10月6日付託
陳情者	新宿区中落合_____

## ( 要 旨 )

高齢者いきいの家「清風園」解体工事を中止してください。

## ( 理 由 )

## 1 2度目の住民説明会が行われず、住民・利用者が納得していない

2020年1月18日、19日の説明会の際、突然の「清風園」廃止説明に対し、住民・利用者が再度の説明会を求めましたが、未だに開催されず、住民監査請求や陳情が出されてきました。説明は尽くされておらず、住民・利用者は納得していません。

## 2 解体されてしまえば取り戻すことができない高齢者施策

いよいよ、区議会の議決を経て解体と擁壁工事契約を結び、工事が始まろうとしています。着手してしまえば、「清風園」廃止によって下記の影響が及び、高齢者施策と地域の安全が後退します。

## (1) 中落合高齢者在宅サービスセンターでは代替できない機能

「清風園」廃止後の高齢者活動・交流施設を、中落合高齢者在宅サービスセンターで代替する計画でしたが、飲食や使用方法について一部改善はあったものの、従来施設よりも大幅に狭くなり、特に、来館の魅力である、景観や入浴という点で大きく劣ります。一方、中落合高齢者在宅サービスセンターは使用可能スペースがかなり狭くなり、コロナ禍での運用を考えると、リスクの大きい要介護の利用者との共存が心配され、利用制限が懸念されます。「清風園」が存続されれば、ゆったりとしたスペースを活用し、今まで以上の支えあいの事業や、介護予防の事業が期待できます。

## (2) 地域交流館では代替できない機能

上落合、中落合、下落合それぞれの地域交流館が代替施設として挙げられますが、それらの施設は坂の上に設置されていて、高齢者が歩いて行くことが困難です。お風呂が一つしかなく利用は男女入れ替え制、利用時間も正午から午後3時までと限定されます。上落合地域交流館は区内で一番利用者が多く、他の地域交流館も既存

の利用者が多数に上り、3密を避けられません。お風呂が男女別で午前10時から午後4時まで利用でき、お風呂の前後にゆったりと食事もできる「清風園」とは全く違います。高齢者にとってお風呂にゆったりと入ることは、何にも勝る健康法です。

(3) 公衆浴場では代替できない機能

「清風園」は入浴が無料に対し、公衆浴場は8月に480円に値上がりして、ますます年金生活の高齢者にとっては負担が大きくなりました。公衆浴場には脱衣室があるだけで、「清風園」のように団らんでできる場所はなく、入浴をまじえての交流はできません。

(4) 住民の安心安全が後退する

高齢者いこいの家「清風園」が廃止となれば、福祉避難所（二次避難所）が1か所廃止されることとなります。昨年来の新型コロナウイルス感染症にみられるように、今後、どんな自然災害やパンデミックが発生するか予測不可能な時に、地域唯一の福祉避難所（二次避難所）を失うことは、地域住民の安心・安全が損ねられることとなります。

3 解体されてしまっっては取り戻すことができない緑の環境

当初計画より、工事で掘削をする箇所が大幅に増えました。まとまって緑が残されるのは、敷地左側のみです。説明会で約束した緑の保全からは程遠く、貴重な緑が失われてしまいます。

現計画では、障害者グループホームの竣工は5年以上かかります。適地での早期建設を求めます。「清風園」を解体については凍結し、再考を求めます。767坪ある「清風園」の緑豊かな環境を生かして、赤ちゃんから若者、高齢者までが集える場として改修し、区が推進する「共生」のモデルケースとしてほしいと願っています。